



平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月7日

上場会社名 不二製油グループ本社株式会社
 コード番号 2607 URL <http://www.fujioilholdings.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 清水 洋史

問合せ先責任者 (役職名) 広報・IRグループリーダー (氏名) 関 伊知郎

TEL 06-6459-0701

四半期報告書提出予定日 平成29年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	77,366	7.8	5,411	11.3	5,321	10.1	3,360	1.4
29年3月期第1四半期	71,759	8.4	4,860	92.9	4,834	98.6	3,314	154.5

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 2,512百万円 (108.3%) 29年3月期第1四半期 1,205百万円 (59.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	39.10	
29年3月期第1四半期	38.56	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	267,705	156,034	56.5	1,758.39
29年3月期	272,109	155,480	55.4	1,753.54

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 151,148百万円 29年3月期 150,731百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		22.00		22.00	44.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		22.00		22.00	44.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	148,000	4.7	8,500	7.6	8,400	7.3	5,500	10.6	63.98
通期	309,000	5.6	20,000	1.6	19,400	1.6	12,500	3.3	145.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 2 社 (社名) 不二(中国)投資有限公司、 除外 社 (社名)
不二製油(肇慶)有限公司

(注)詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期1Q	87,569,383 株	29年3月期	87,569,383 株
----------	--------------	--------	--------------

期末自己株式数

30年3月期1Q	1,610,727 株	29年3月期	1,610,630 株
----------	-------------	--------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期1Q	85,958,720 株	29年3月期1Q	85,959,261 株
----------	--------------	----------	--------------

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に対する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想値とは異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な雇用・所得情勢を受け、個人消費も緩やかに回復してきており、景気は緩やかな回復基調となっております。米国は雇用情勢の改善、個人消費の持ち直しを背景に、景気は緩やかな拡大基調となっております。欧州は政治リスクの後退などを背景に、景気の回復が続いております。中国や新興国は、総じて景気の持ち直し基調となっております。

この様な状況の中、当社グループは中期経営計画「Towards a Further Leap 2020」(2017年度～2020年度)における「コアコンピタンスの強化」「大豆事業の成長」「機能性高付加価値事業の展開」を主軸とした成長戦略を推進し、大きく変化する市場を捉え、成長する市場・強みを発揮できる市場に展開を図ってまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における連結業績は、売上高は773億66百万円(前年同期比7.8%増)、営業利益は54億11百万円(前年同期比11.3%増)、経常利益は53億21百万円(前年同期比10.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は33億60百万円(前期比1.4%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、従来「大豆たん白」として表示していた報告セグメントの名称を「大豆」に変更しております。当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

(油脂部門)

国内では、チョコレート用油脂など製菓用油脂の販売伸長により売上高は増収となりました。また、海外においては、米州・欧州等でチョコレート用油脂などの販売が伸長したことにより増収となりました。利益面では、原料高に伴い採算性が低下し減益となりました。

以上の結果、当部門の売上高は290億88百万円(前年同期比9.9%増)、セグメント利益(営業利益)は13億24百万円(前年同期比17.8%減)となりました。

(製菓・製パン素材部門)

国内市場では、業務用チョコレートやフィリング製品等は堅調に推移しましたが、調製品の販売において採算を重視したため売上高は減収となりました。中国市場では、引き続きフィリング製品の販売が順調に推移しました。また、アジアおよびブラジル市場では、チョコレート製品の販売が順調に伸長しました。利益面では、主にブラジルでの利益伸長により増益となりました。

以上の結果、当部門の売上高は385億24百万円(前年同期比8.3%増)、セグメント利益(営業利益)は32億56百万円(前年同期比28.5%増)となりました。

(大豆部門)

大豆たん白素材は、シリアル・健康食品市場向け販売が順調に推移しました。また、大豆たん白機能剤の飲料用途向けの販売が引き続き伸長したことにより増収・増益となりました。

以上の結果、当部門の売上高は97億54百万円(前年同期比0.2%増)、セグメント利益(営業利益)は8億30百万円(前年同期比16.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ44億4百万円減少し、2,677億5百万円となりました。

主な資産の変動は、現金及び預金の減少26億39百万円、たな卸資産の減少33億84百万円、投資有価証券の増加12億1百万円等であります。

有利子負債（リース債務は除く）は、前連結会計年度末に比べ45億93百万円減少し、610億74百万円となりました。

主な純資産の変動は、利益剰余金の増加13億98百万円、その他有価証券評価差額金の増加8億3百万円、為替換算調整勘定の減少18億74百万円であります。

この結果、自己資本比率は56.5%、1株当たり純資産は1,758円39銭となりました。

(連結キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ25億86百万円減少、前第1四半期連結累計期間末に比べ22億59百万円減少し、100億95百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期比で45億54百万円増加し、69億73百万円の収入となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益52億58百万円、減価償却費26億2百万円、たな卸資産の減少額26億46百万円等による収入が、売上債権の増加額11億97百万円、仕入債務の減少額18億39百万円、法人税等の支払額17億55百万円等の支出を上回ったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期比で4億31百万円支出が減少し、38億58百万円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出36億9百万円等があったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期比で38億24百万円支出が増加し、57億78百万円の支出となりました。これは主に、短期借入金の純減少額34億23百万円、配当金の支払額18億91百万円、長期借入金の返済による支出3億65百万円等があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月9日発表の第2四半期累計期間及び通期の業績予想は修正しておりません。今後の事業環境の変化を見極めた上で、見直しの必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,762	10,123
受取手形及び売掛金	59,045	59,513
商品及び製品	24,740	23,466
原材料及び貯蔵品	27,657	25,547
繰延税金資産	1,435	1,677
その他	7,022	11,413
貸倒引当金	△209	△149
流動資産合計	132,455	131,593
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	34,047	34,025
機械装置及び運搬具(純額)	35,832	34,410
土地	15,093	15,081
建設仮勘定	4,059	5,425
その他(純額)	2,370	2,408
有形固定資産合計	91,402	91,351
無形固定資産		
のれん	12,898	12,592
その他	10,312	10,111
無形固定資産合計	23,210	22,704
投資その他の資産		
投資有価証券	16,103	17,304
退職給付に係る資産	1,023	1,114
繰延税金資産	312	304
その他	7,846	3,569
貸倒引当金	△245	△236
投資その他の資産合計	25,040	22,056
固定資産合計	139,653	136,111
資産合計	272,109	267,705

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,212	21,018
短期借入金	29,789	26,117
未払法人税等	2,511	2,300
賞与引当金	2,320	3,420
役員賞与引当金	64	-
その他	11,679	15,733
流動負債合計	69,576	68,589
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	25,878	24,957
繰延税金負債	4,587	5,016
退職給付に係る負債	1,867	1,831
その他	4,718	1,275
固定負債合計	47,051	43,081
負債合計	116,628	111,671
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,208	13,208
資本剰余金	15,609	15,609
利益剰余金	119,251	120,649
自己株式	△1,749	△1,749
株主資本合計	146,320	147,718
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,484	6,287
繰延ヘッジ損益	41	86
為替換算調整勘定	29	△1,845
退職給付に係る調整累計額	△1,144	△1,098
その他の包括利益累計額合計	4,410	3,430
非支配株主持分	4,749	4,885
純資産合計	155,480	156,034
負債純資産合計	272,109	267,705

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	71,759	77,366
売上原価	56,736	61,245
売上総利益	15,022	16,121
販売費及び一般管理費	10,162	10,709
営業利益	4,860	5,411
営業外収益		
受取利息	169	170
受取配当金	100	90
持分法による投資利益	91	19
デリバティブ評価益	84	-
その他	120	162
営業外収益合計	565	443
営業外費用		
支払利息	185	292
その他	405	240
営業外費用合計	591	533
経常利益	4,834	5,321
特別損失		
固定資産処分損	71	62
特別損失合計	71	62
税金等調整前四半期純利益	4,763	5,258
法人税、住民税及び事業税	1,414	1,837
法人税等調整額	△141	△163
法人税等合計	1,273	1,674
四半期純利益	3,489	3,583
非支配株主に帰属する四半期純利益	175	223
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,314	3,360

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	3,489	3,583
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	537	802
繰延ヘッジ損益	△636	43
為替換算調整勘定	△2,250	△1,934
退職給付に係る調整額	52	46
持分法適用会社に対する持分相当額	14	△30
その他の包括利益合計	△2,284	△1,071
四半期包括利益	1,205	2,512
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,219	2,380
非支配株主に係る四半期包括利益	△13	132

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,763	5,258
減価償却費	2,521	2,602
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△131	△90
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	49	47
受取利息及び受取配当金	△269	△260
支払利息	185	292
売上債権の増減額(△は増加)	△742	△1,197
たな卸資産の増減額(△は増加)	△405	2,646
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,125	△1,839
その他	1,335	1,315
小計	5,179	8,774
利息及び配当金の受取額	269	261
利息の支払額	△194	△306
法人税等の支払額	△2,834	△1,755
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,419	6,973
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,916	△3,609
連結の範囲の変更を伴う子会社出資金の取得による収入	-	32
その他	△372	△281
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,289	△3,858
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	543	△3,423
長期借入金の返済による支出	△877	△365
配当金の支払額	△1,547	△1,891
非支配株主への配当金の支払額	△14	△20
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△15	△30
その他	△44	△46
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,954	△5,778
現金及び現金同等物に係る換算差額	△518	△120
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,343	△2,783
現金及び現金同等物の期首残高	16,698	12,681
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	197
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,354	10,095

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第1四半期連結会計期間において、非連結子会社であった不二(中国)投資有限公司(旧社名:不二富吉(上海)投資有限公司)は重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

また、当第1四半期連結会計期間において、不二製油(肇慶)有限公司を新設し、連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社及び当社グループ(以下 当社グループ)は油脂製品、製菓・製パン素材製品及び大豆製品の製造販売を主として行っており、取り扱う製品群毎に国内外で事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、製品群を基礎とした事業別のセグメントから構成されており、「油脂」、「製菓・製パン素材」及び「大豆」の3つを報告セグメントとしております。

「油脂」はヤシ油、パーム油及びパーム核油等を基礎原料とした精製油及びチョコレート用油脂等を製造販売しております。「製菓・製パン素材」はチョコレート、クリーム、ショートニング及び乳加工食品等を製造販売しております。「大豆」は大豆たん白素材、大豆たん白食品及び豆乳等を製造販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	合計
	油脂	製菓・製 パン素材	大豆	計		
売上高						
外部顧客への売上高	26,461	35,566	9,731	71,759	—	71,759
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,927	166	207	4,301	△4,301	—
計	30,389	35,732	9,938	76,061	△4,301	71,759
セグメント利益	1,611	2,532	715	4,860	—	4,860

(注) セグメント間取引消去によるものです。なお、セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(参考資料)

所在地別セグメント

(単位：百万円)

	日本	アジア	米州	欧州	計	調整額	合計
売上高							
外部顧客への売上高	42,919	11,731	12,352	4,756	71,759	—	71,759
セグメント間の内部売上高 又は振替高	180	5,704	121	17	6,023	△6,023	—
計	43,099	17,435	12,474	4,774	77,783	△6,023	71,759
セグメント利益	2,804	1,225	503	355	4,889	△28	4,860

(注) 1. 国又は地域の区分の方法……………地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域…アジア：シンガポール、マレーシア、中国、フィリピン、
インドネシア、タイ
米州：米国、ブラジル
欧州：ベルギー

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社及び当社グループ(以下 当社グループ)は油脂製品、製菓・製パン素材製品及び大豆製品の製造販売を主として行っており、取り扱う製品群毎に国内外で事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、製品群を基礎とした事業別のセグメントから構成されており、「油脂」、「製菓・製パン素材」及び「大豆」の3つを報告セグメントとしております。

「油脂」はヤシ油、パーム油及びパーム核油等を基礎原料とした精製油及びチョコレート用油脂等を製造販売しております。「製菓・製パン素材」はチョコレート、クリーム、ショートニング及び乳加工食品等を製造販売しております。「大豆」は大豆たん白素材、大豆たん白食品及び豆乳等を製造販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	合計
	油脂	製菓・製 パン素材	大豆	計		
売上高						
外部顧客への売上高	29,088	38,524	9,754	77,366	—	77,366
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,344	146	102	4,593	△4,593	—
計	33,432	38,670	9,857	81,960	△4,593	77,366
セグメント利益	1,324	3,256	830	5,411	—	5,411

(注) 1. セグメント間取引消去によるものです。なお、セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 当第1四半期連結会計期間より、従来「大豆たん白」として表示していた報告セグメントの名称を「大豆」に変更しております。当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。なお、前第1四半期連結累計期間の報告セグメントについても、変更後の名称で表示しております。

(参考資料)

所在地別セグメント

(単位：百万円)

	日本	アジア	米州	欧州	計	調整額	合計
売上高							
外部顧客への売上高	43,057	13,362	15,229	5,717	77,366	—	77,366
セグメント間の内部売上高 又は振替高	70	6,593	45	6	6,715	△6,715	—
計	43,127	19,955	15,274	5,723	84,081	△6,715	77,366
セグメント利益	2,653	1,324	1,691	63	5,732	△321	5,411

(注) 1. 国又は地域の区分の方法……………地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域…アジア：シンガポール、マレーシア、中国、インドネシア、タイ
米州：米国、ブラジル
欧州：ベルギー

2018年3月期 第1四半期 決算補足資料

不二製油グループ本社株式会社

1

目次

1. 連結 第1四半期業績
 - (1) 連結 損益概要
 - (2) 連結 油脂部門損益
 - (3) 連結 製菓・製パン素材部門損益
 - (4) 連結 大豆部門損益
 - (5) 連結 地域別損益
 - (6) 連結 貸借対照表
 - (7) 連結 キャッシュ・フロー
 - (8) 連結 指標
2. 連結業績予想

(報告セグメント名称変更について)
当第1四半期連結会計期間より、従来「大豆たん白」と表示していた報告セグメントの名称を「大豆」に変更しております。
当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

- ※1：本資料に記載されている金額は億円未満を四捨五入で表示しています。
※2：本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2

1-(1) 連結 損益概要

(単位: 億円)

		16年度 Q1	17年度 Q1	対前期	
				増減額	増減率
売上高	油脂	265	291	+26	+9.9%
	製菓・製パン素材	356	385	+30	+8.3%
	大豆	97	98	+0	+0.2%
	合計	718	774	+56	+7.8%
営業利益	油脂	16	13	▲3	▲17.8%
	製菓・製パン素材	25	33	+7	+28.5%
	大豆	7	8	+1	+16.0%
	合計	49	54	+6	+11.3%
営業利益率		6.8%	7.0%	+0.2p	—
経常利益		48	53	+5	+10.1%
親会社株主に帰属する四半期純利益		33	34	+0	+1.4%
四半期包括利益		12	25	+13	+108.3%

3

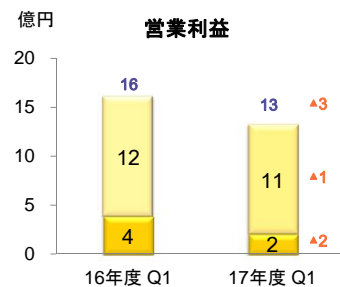
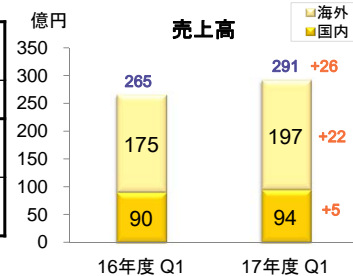
1-(2) 連結 油脂部門損益

(億円)

	16年度 Q1	17年度 Q1	対前期	
			増減額	増減率
売上高	265	291	+26	+9.9%
営業利益	16	13	▲3	▲17.8%

業績サマリー

- **国内**
チョコレート用油脂などの製菓用油脂の販売伸長により増収、利益面では原料高による採算性低下に伴い減益。
- **海外**
米州・欧州等でのチョコレート用油脂の販売伸長により増収、利益面では原料高による採算性低下に伴い減益。



4

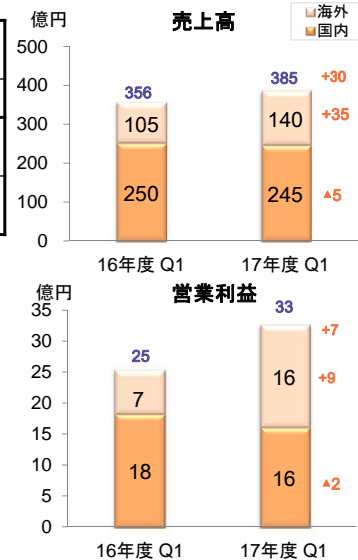
1-(3) 連結 製菓・製パン素材部門損益

(億円)

	16年度 Q1	17年度 Q1	対前期	
			増減額	増減率
売上高	356	385	+30	+8.3%
営業利益	25	33	+7	+28.5%

業績サマリー

- **国内**
業務用チョコレートやフィリング等は堅調に推移するも、調製品の採算を重視したため減収。
- **海外**
中国市場でのフィリングの販売が順調に推移したこと、アジアおよびブラジル市場でのチョコレートの販売が伸長したことにより増収。
利益面ではブラジルでの利益伸長により増益。



5

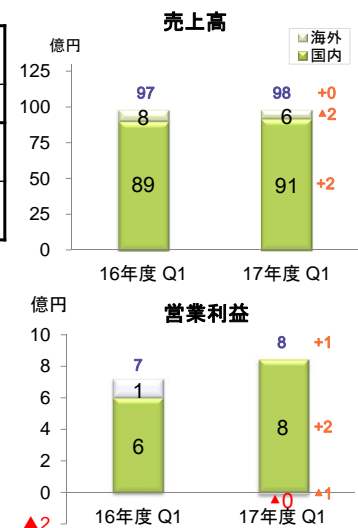
1-(4) 連結 大豆部門損益

(億円)

	16年度 Q1	17年度 Q1	対前期	
			増減額	増減率
売上高	97	98	+0	+0.2%
営業利益	7	8	+1	+16.0%

業績サマリー

- **大豆たん白素材**
シリアル・健康食品市場向けの販売が順調に推移したことにより増収・増益。
- **大豆たん白機能剤**
飲料用途の販売が伸長したことにより増収・増益。



6

1-(5) 連結 地域別損益

(単位:億円)

		16年度 Q1	17年度 Q1	対前期	
				増減額	増減率
売上高	日本	429	431	+1	+0.3%
	アジア	117	134	+16	+13.9%
	欧米	171	209	+38	+22.4%
	合計	718	774	+56	+7.8%
営業利益	日本	28	27	▲2	▲5.4%
	アジア	12	13	+1	+8.1%
	欧米	9	18	+9	+104.3%
	消去	▲0	▲3	▲3	—
	合計	49	54	+6	+11.3%

日 本:油脂・大豆の販売が伸長するも、原料高による採算性低下に伴い減益。

アジア:フィリング・チョコレートの販売増加等により増収・増益。

欧 米:チョコレート用油脂・チョコレートの販売伸長により増収・増益。

7

1-(6) 連結 貸借対照表

(単位:億円)

	16年度 期末	17年度 Q1末	対前期末	主な増減要因
流動資産	1,325	1,316	▲9	現預金の減少、たな卸資産の減少等
固定資産	1,397	1,361	▲35	有形固定資産の減少、無形固定資産の減少等
資産合計	2,721	2,677	▲44	
有利子負債	657	611	▲46	
その他負債	510	506	▲4	仕入債務の減少、賞与引当金の増加等
負債合計	1,166	1,117	▲50	
純資産合計	1,555	1,560	+6	利益剰余金の増加、その他有価証券評価差額金の増加、為替換算調整勘定の減少等

8

1-(7) 連結 キャッシュ・フロー

(単位: 億円)

	16年度 Q1	17年度 Q1	対前期
税引前四半期純利益	48	53	+5
減価償却費	25	26	+1
他増減	▲49	▲9	+40
営業キャッシュ・フロー	24	70	+46
投資キャッシュ・フロー	▲43	▲39	+4
フリー・キャッシュ・フロー	▲19	31	+50
借入金等による調達・返済	▲3	▲38	▲35
配当支払・自己株取得等	▲16	▲20	▲4
財務キャッシュ・フロー	▲20	▲58	▲38
現金及び現金同等物増減(換算差額含む)	▲43	▲28	+15
新規連結に伴う増減	—	2	+2
現金及び現金同等物残高	124	101	▲23

(注)・減価償却費には、有形固定資産及び無形固定資産等の償却費を含めています。

・現金及び現金同等物増減には、現金及び現金同等物に係る換算差額を含めています。

9

1-(8) 連結 指標

(単位: 億円)

	14通期	15Q1	15通期	16Q1	16通期	17Q1
設備投資額	112	26	153	36	136	33
減価償却費	82	21	92	23	96	24
有利子負債	296	600	600	591	657	611
純資産(非持除く)	1,456	1,448	1,423	1,420	1,507	1,511
1株当たり純資産	1,694円	1,684円	1,656円	1,652円	1,754円	1,758円
総資産	2,236	2,596	2,669	2,631	2,721	2,677
自己資本比率	65.1%	55.8%	53.3%	54.0%	55.4%	56.5%
D/Eレシオ	0.20	0.41	0.42	0.42	0.45	0.40
ROE	6.8%	3.6%	6.4%	9.3%	8.3%	8.9%
ROA	6.3%	4.0%	5.8%	7.3%	7.3%	7.9%

(注)・減価償却費は、有形固定資産の減価償却費を表示しています。

・純資産は非支配株主持分を除いた普通株式に係る純資産額を表示しています。

・D/Eレシオ=有利子負債÷純資産(非支配株主持分除く)

・ROE=当期純利益÷純資産(Q1指標は、年換算しています。)

・ROA=経常利益÷総資産(Q1指標は、年換算しています。)

10

2 連結業績予想

【連結業績予想】

(単位:億円)

	第2四半期累計			通 期		
	前 期	当 期	増 減	前 期	当 期	増 減
売上高	1,414	1,480	+66	2,925	3,090	+165
営業利益	92	85	▲7	197	200	+3
経常利益	91	84	▲7	197	194	▲3
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	62	55	▲7	121	125	+4

(注) 2017年5月9日発表の連結業績予想は変更していません。